

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
令和2年3月31日 提出

1. 視察概要

会派名	大清会
視察者名	佐藤 勝、加藤善市
視察日	令和2年3月25日～27日
視察先	東京都台東区。 新潟県佐渡市

視察内容

視察項目	<p>「ふるさと交流ショップ 台東」と小中学生のグリーンツーリズムの要請について</p> <p>出席者 石塚議長 和泉議員 石野事務局長 廣部都市交流課長 大塚同課長補佐 教育委員会福田学務課長</p> <p>視察目的を出迎える、石塚議長、和泉議員と事務局長にお話し、理解を深めてもらいたい旨と、表敬であることの懇談を、議長室で対談させて頂きました。</p> <p>大崎市の台東区へのアンテナショップ進出は、議員ルートでさがしてはいるが 場所、賃貸料は台東区はバブルで、仲見世通りでは裏では億ともいわれている。むずかしいだろう。場所が良ければバカ高い。当分は交流ショップを利用するのも手であろう。全国の借りた自治体間では好評で、交流ショップも案内され、浅草千束通り商店街の活性化にもつながり、3年間の区との契約終了後にも、大崎市で借りてもいいなど私たちが話したところ。大塚補佐は、どうぞ借りて下さい。</p> <p>小中学生の教育旅行についての調査の予算化をしたので、大崎市に来年度お邪魔し農業の体験などを、教育委員会として勉強してくる予定だと答えをいただく。</p> <p><u>世界農業遺産「朱鷺（トキ）と共生する里山」</u></p> <p>出席者 猪俣議長 池議会事務局庶務係長 宇治農政課里山振興係長</p> <p>今年で認定を受けて8年目、大崎市の先輩格で、生物多様性と循環型農業のとりにくみを展開した結果トキの個体数が増え、生き物を育む農法を島内の水田で実施し、豊かな生態系を維持する里山と、集落コミュニティを高める多様な農村文化の継承を進め令和3年には、11の全国自治体間で大崎市でサミットをやりたいと向けると、担当者は東京で全国自治体間大会を開催して、国と国民の認知度を上げる事をやりたいと、意気投合する。</p>
他会派との 合同実施	

以上